

南丹市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、国内外で猛暑や集中豪雨などの自然災害が発生し、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年には、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べ1.5°Cに抑えることを追求した新たな法的枠組みであるパリ協定が合意され、その後のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告書において、気温上昇を1.5°Cに抑えるためには2050年までに二酸化炭素（CO₂）の排出量を実質ゼロにする必要があるとされています。

また、国においては、2020年に2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを宣言され、脱炭素社会の構築に向けた取り組みが全国各地で進められています。

南丹市においては、市民・事業者・行政などが環境に配慮した行動を自覚し、連携により、豊かな環境を保全するとともに、快適な環境を創造し次世代へと引き継いでいくことが私たちの責務であると考えております。

これらを踏まえ、南丹市では第2次南丹市環境基本計画（区域施策編）に掲げた2050年までに南丹市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする目標に向け、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け取り組むことを宣言します。

令和5年1月4日

南丹市長 西村良平